

環境省は6日、鹿児島

県の奄美大島や徳之島

などで構成する「奄美

群島国立公園」（仮称）

の指定区域案を公表し

た。奄美市など12市町

村の陸域4万2千㊦、海

域3万3千㊦で、奄美群

島の主要部をカバーす

る。

希少な動植物が生息す

る国内最大規模の亜熱帯

照葉樹林が特徴。201

8年の世界遺産登録を目

標とする「奄美・琉球」

（鹿児島、沖縄）は、全

エリアの環境保護体制が

法的に位置付けられるこ

とになる。

環境省は今後、世界遺

「奄美」世界遺産へ一歩

2016.10.7. 読

産の対象区域確定も急 月1日までの推薦書提出
ぎ、国連教育科学文化機 を目指す。
関（ユネスコ）に来年2 登録に向けてはハブ駆

国立公園の区域案公表



希少な動植物生息

除のために持ち込まれ、
固有種の生息を脅かして
いる外来種のマングース
対策や、自然環境と調和
した林業や観光が課題と
なる。

国立公園の指定区域案
は一般からの意見募集を
経て、来年1月ごろに中
央環境審議会で決定。指
定は来春の見通しで全国
34番目となる。

指定区域案のうち陸域
には、絶滅の恐れがある
アマミノクロウサギなど
が生息。海域には世界北
限のサンゴ礁やマングロ
ーブ林が広がり、地域固
有の豊かな生態系を形成
している。